

## 介護サービス事業所従事者向けアンケート

当てはまるものにチェックし、又は数字をご記入ください。

問1	住まい	1 生駒市内	2 その他の市町村
問2	性別	1 男性	2 女性 3 無回答
問3	年齢	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	
問4	所属 ※主なサービス1つに○をつけてください。	(1) 介護保険給付サービス(居宅) 1 訪問介護(ホームヘルプサービス) 2 訪問入浴介護 3 訪問リハビリテーション 4 訪問看護 5 通所介護(デイサービス) 6 通所リハビリテーション 7 地域密着型通所介護(デイサービス) 8 短期入所生活介護 9 短期入所療養介護 10 特定施設入居者生活介護 11 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 12 小規模多機能型居宅介護 13 看護小規模多機能型居宅介護 14 認知症対応型通所介護 15 認知症対応型共同生活介護 (2) 介護保険給付サービス(施設) 16 介護老人福祉施設 17 介護老人保健施設 18 介護医療院 (3) 介護予防・日常生活支援総合事業 19 介護予防訪問介護相当サービス 20 訪問型サービスA 21 介護予防通所介護相当サービス 22 通所型サービスA 23 通所型サービスC	
問5	保有資格 (複数回答可) 当該番号に○を付けてください。	1 介護支援専門員 3 看護師(准看護師) 5 理学療法士・作業療法士等 7 実務者研修修了 9 その他( )	2 介護福祉士 4 保健師 6 社会福祉士 8 介護職員初任者研修修了(旧ヘルパ-2級) 10 資格なし
問6	従事している職務 (兼務している場合には主に従事している職務1つに○を付けてください。)	1 【訪問介護】サービス提供責任者 3 介護職員 5 生活相談員・支援相談員 7 PT、OT、ST、柔道整復師等 9 その他の職員(施設長・医師・事務職員等)                 2 訪問介護員 4 看護職員 6 介護支援専門員(ケアマネジャー)・計画作成担当者 8 ケア・アシスタント(介護助手)	
問7	経験年数 ※介護、福祉関係の仕事に現業として従事したトータル的年数	そのうち、生駒市での経験年数 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 年 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> か月 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 年 <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> か月	
問8	雇用形態	1 常勤	2 非常勤
		※雇用形態にかかわらず、事業所が定める1週間の勤務時間(所定労働時間)の全てを勤務する場合は「常勤」、勤務しない場合は「非常勤」となります。	
問9	勤務時間数(1週間分) ※兼務先を含む	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 時間 ※1週間分(記入日から過去7日間)の勤務時間の合計(残業を含む)をご記入ください。 ※四捨五入して整数でご記入ください。 ※複数の施設、事業所を兼務されている場合は、兼務先の勤務時間も含めた値としてください。	

問10 あなたは、将来において介護の現場で働いていると思いますか。当てはまる番号に○を付けてください。

将来の時点	将来、あなたは介護の分野で働いていますか。					【左記で1～3と答えた場合のみお答えください】				
						関っているであろうサービス			想定する働き方	
	1 働いていると強く思う	2 どちらかといえば働いていると思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば辞めていると思う	5 辞めていると強く思う	1 居宅サービス(在宅)	2 施設サービス	3 わからない	1 常勤	2 非常勤(パート等)
2023年(現在)										
2024年(1年後)	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2
2026年(3年後)	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2
2028年(5年後)	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2
2033年(10年後)	1	2	3	4	5	1	2	3	1	2

上記で答えた理由をご記入ください。

問11 あなたが生駒市で働き続けるために市に求めることは何ですか。(3つまで○)

- 3つまで
- 1 教育・研修の拡大・充実
  - 2 多職種による連携・協働に関する研修
  - 3 人材確保のための施策の推進
  - 4 身近な場所での相談窓口の充実
  - 5 市民への介護保険制度の周知・啓発
  - 6 資格取得時の費用負担支援
  - 7 介護現場で働く魅力の発信
  - 8 介護ロボットやICTの導入支援
  - 9 その他( )

問12 介護の業界で離職される人が多いのは、主にどのようなことが原因だと思いますか。(複数回答可)

- 複数回答
- 1 雇用が不安定である
  - 2 仕事内容のわりに賃金が低い
  - 3 労働時間が不規則である
  - 4 労働時間が長い
  - 5 休憩が取りにくい
  - 6 休暇が少ない・休暇が取りにくい
  - 7 夜間や深夜時間帯に何か起こるのではないかと不安がある
  - 8 利用者や家族からのパワーハラスメント・セクシャルハラスメントがある
  - 9 身体的負担が大きい(体力に不安がある)
  - 10 精神的負担が大きい
  - 11 業務に対する社会的価値が低い
  - 12 仕事で満足感や達成感を得られない
  - 13 職場の人間関係
  - 14 福祉機器の不足、機器操作の不慣れ、施設の構造に不安がある
  - 15 その他( )
  - 16 特に離職者が多いと感じていない

問13 現在、あなたは、介護ロボットを使用していますか。(1つに○)

- 1つだけ
- 1 使用している
  - 2 使用したことがあるが、現在は使用していない
  - 3 使用したことがない ⇒ 問16へ
  - 4 介護ロボットを使用する業務内容ではない ⇒ 問16へ

問14 【問13で「1」又は「2」を選択された方のみお答えください。】  
 使用している(使用していた)介護ロボットについてお答えください。(複数回答可)また、使用しているロボット種別ごとに導入効果を3つまでお答えください。

■ロボット種別

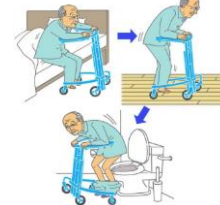
①移乗支援(装着型)



②移乗支援(非装着型)



③移動支援



④排泄支援



⑤入浴支援



⑥見守り・コミュニケーション支援



※イラストは経済産業省「ロボット介護機器開発・導入促進事業 研究基本計画」より

ロボット種別	導入状況 ※導入しているロボットに○を記入	導入効果 ※あてはまる効果について下記の番号を記入		
①移乗支援(装着型)				
②移乗支援(非装着型)				
③移動支援				
④排泄支援				
⑤入浴支援				
⑥見守り・コミュニケーション支援				

- 1 人手不足に効果
- 2 夜間の配置職員を減少
- 3 日中業務の負担が軽減
- 4 夜間業務の負担が軽減
- 5 作業時間が短縮
- 6 介護サービスが向上
- 7 職員の腰痛予防
- 8 職員の精神的負担が軽減
- 9 シニア職員の活躍促進
- 10 職員の採用促進

問15 【問13で「1」又は「2」を選択された方のみお答えください。】  
 介護ロボットを使用して感じた課題についてお答えください。(複数回答可)

- 複数回答
- 1 導入費用が高額
  - 2 有効性を感じない(期待できない)
  - 3 利用者の安全面に不安
  - 4 使用者の安全面に不安
  - 5 機器に関する情報が少ない
  - 6 機器のメンテナンスが大変
  - 7 準備・片付けに時間がかかる
  - 8 機器の誤作動が不安
  - 9 機器の操作が難しい
  - 10 機器を活用した業務改革が必要
  - 11 研修や使い方の周知が必要
  - 12 その他( )

問16 現在、あなたは、ICTを使用していますか。(1つに○)

1つ  
だけ

- 1 使用している      2 使用したことがあるが、現在は使用していない  
3 今後使用を検討している ⇒ 問20へ      4 使用の予定はない ⇒ 問20へ

問17 【問16で「1」又は「2」を選択された方のみお答えください。】  
使用したICTの種類についてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- 1 介護(支援)ソフト・システム      2 電子カルテ  
3 雇用管理ソフト・システム      4 事業者間情報共有システム  
5 パソコン等による利用者情報の一元管理      6 タブレット端末・モバイル端末  
7 テレビ会議システム      8 その他(      )

問18 【問16で「1」又は「2」を選択された方のみお答えください。】  
使用したICTの効果についてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- 1 業務の効率化・時間短縮につながった      2 サービスの質の向上や利用者の満足度向上につながった  
3 利用者情報の共有や従業員間の連携が改善された      4 多業者間、多職種間で情報共有を図ることができた  
5 その他(      )

問19 【問16で「1」又は「2」を選択された方のみお答えください。】  
ICTを使用して感じた課題についてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- 1 経費・費用負担の増加      2 費用対効果が不明確  
3 従業員の習得・習熟に時間がかかる      4 事故・トラブル等への対応  
5 維持管理が困難      6 作業負担の増加  
7 インターネット環境の整備が困難      8 ICTの導入・活用によって、そもそも何が解決できるか分からない  
9 特になし      10 その他(      )

令和5年4月に開始されたケアプランデータ連携システムについて知っていますか。(1つに○)

問20

※「ケアプランデータ連携システム」は、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所の間で毎月やり取りされるケアプランのうち、サービス提供票(予定・実績)をデータ連携するためのシステムです。

1つ  
だけ

- 1 存在を知っており、内容も理解している      2 存在は知っているが、内容は理解していない  
3 存在を知らない

問21 ケアプランデータ連携システムを利用したいと思いますか。(1つに○)

1つ  
だけ

- 1 すでに利用している      2 利用したいと思う      3 利用したいと思わない  
4 わからない

問22

サービス利用者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携は、現在、どのような状況ですか。(それぞれの項目、1つに○)  
 また、「あまりとれていない」・「ほとんどとれていない」と答えた方は、表の下の一覧から選んで番号を記入してください。(複数回答可)

	よくとれている	ある程度とれている	あまりとれていない	ほとんどとれていない	「あまりとれていない」 「ほとんどとれていない」 の理由 ※表の下の一覧から選 び番号を記入(複数回答 可)
① 主治医・かかりつけ医	1	2	3	4	
② 歯科医師	1	2	3	4	
③ 薬剤師	1	2	3	4	
④ 理学療法士等のリハビリ職	1	2	3	4	
⑤ 医療ソーシャルワーカー	1	2	3	4	
⑥ 地域包括支援センター	1	2	3	4	
⑦ 居宅介護支援事業所	1	2	3	4	
⑧ 介護保険サービス事業者	1	2	3	4	
⑨ 市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	
⑩ 自治会関係者、民生委員	1	2	3	4	
⑪ 社会福祉協議会	1	2	3	4	
⑫ 患者家族	1	2	3	4	
⑬ ボランティアなど	1	2	3	4	

【「あまりとれていない」・「ほとんどとれていない」の理由】 ※あてはまる番号を上記の表に記入(複数回答可)

- 1 連携先との時間調整が難しい
- 2 専門用語が難しく躊躇する
- 3 忙しくて時間がとれない
- 4 個人情報の絡みでどこまで伝えてよいかわからない
- 5 連携するメリットが感じとれない
- 6 連絡先を知らない
- 7 その他

問23 介護従事者と医療関係者等が連携を進める上で、どのような課題があるとお考えですか。(複数回答可)

複数  
回答

- 1 具体的な連携方法が分からない
- 2 異職種間での意思疎通が難しい
- 3 連携するためのツール(ICTを活用したシステム等)がない
- 4 所属している組織の理解が得られない
- 5 時間調整の難しさ
- 6 その他( )

問24 認知症ケアで難しく感じることについてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- 1 家族の認知症理解促進
- 2 当事者の強みを引き出す支援
- 3 本人家族を含む交流の場の創出
- 4 症状に応じたサービスの案内(受入先に困る)
- 5 入浴の誘導や食事介助
- 6 BPSD(認知症の行動・心理状態)の対応
- 7 その他( )

問25 認知症施策の推進について、重点的に取り組むことが必要と思うものについてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- |                   |                          |
|-------------------|--------------------------|
| 1 認知症支援隊の養成・活用    | 2 当事者及び家族支援の充実           |
| 3 認知症カフェの充実       | 4 オレンジチームの創出             |
| 5 認知症サポーター養成講座の充実 | 6 認知症キャラバンメイトの養成         |
| 7 認知症初期集中支援チームの充実 | 8 行方不明高齢者の検索ネットワークの充実    |
| 9 グループホーム等の充実     | 10 認知症ケアにかかわる医療・介護従事者の育成 |
| 11 認知症にやさしい店舗の充実  | 12 成年後見制度の利用促進           |
| 13 その他( )         |                          |

問26 若年性認知症の方を受け入れるに当たって難しいと感じることについてお答えください。(複数回答可)

複数  
回答

- |                            |              |
|----------------------------|--------------|
| 1 本人の意向に沿う形がとりづらい          | 2 職員の知識・技量不足 |
| 3 介護保険サービス以外(障害年金など)の施策の理解 | 4 その他( )     |

問27 あなたは、「地域共生社会」について知っていますか。(1つに○)  
※地域共生社会とは、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を指しています。

1つ  
だけ

- |                           |                 |
|---------------------------|-----------------|
| 1 知っており、実現に向けてできることは協力したい | 2 知っている         |
| 3 言葉は聞いたことがあるが、詳しくはわからない  | 4 知らない・聞いたことがない |
| 5 その他( )                  |                 |

問28 あなたは、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について知っていますか。(1つに○)  
※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされたうえで、人生の最終段階の医療やケアについて、本人が家族や医療・介護従事者等信頼できる周囲の関係者と事前に繰り返し話し合うプロセスのことをいいます。

1つ  
だけ

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 知っており、サービス利用者に対して実践している | 2 知っているが、サービス利用者に対して実践できていない |
| 3 言葉は聞いたことがあるが、詳しくはわからない  | 4 知らない・聞いたことがない              |
| 5 その他( )                  |                              |

質問は以上です。ありがとうございました。